

佐世保南高校文理探究科に関するQ & A

【文理探究科の目的や特色、内容について】

Q 1 文理探究科とはどのような学科ですか。

- A 1
- ・現代は、「グローバル化」、「情報化」などで日々の変化が激しい時代です。これからは、急激な変化に対し柔軟に対応できるよう単に知識を学ぶだけでなく、思考・判断し知識を活用する力が必要となります。
 - ・また、大学入試もこのことに即して変更されています。文理探究科はそのような力の育成を目指す学科であり、力を身に付けるために、自ら課題を発見し解決に取り組む「探究型学習」を重視します。探究型学習について、佐世保南高校は令和2年度から取り組んでおり、文理探究科の設置により取組をさらに発展させていくことを目指しています。

Q 2 文理探究科を設置したのはなぜですか。

- A 2
- ・将来、皆さんが生活する、変化の激しいこれからの社会を生き抜くためには、学んだ知識を活用しながら、自ら課題を発見し解決するとともに、その成果を伝える力が求められています。
 - ・こうした力を育むため、探究学習に関する学校独自のカリキュラムを編成しており、これにより普段の授業に加え、学校外での活動や体験的な学びをとおして、課題解決力の向上を目指しています。
 - ・こうして身に付けた課題解決力は、令和3年度入試から始まった「大学入学共通テスト」や、大学の個別学力試験でも求められるようになりました。皆さんの夢の実現に向け、こうした探究での学びは、大学入試においても活かせるものとなっています。

Q 3 文理探究科と普通科はどう違うのですか。

- A 3
- ・両学科とも、ベースとなる教科学習にしっかりと取り組みます。それに加えて文理探究科では英語や数学、理科について専門的な科目を学習します。
 - ・文理探究科では探究学習の時間を1、2年生でそれぞれ週に1時間ずつ多く設けており、それに取り組むことにより、思考力・判断力・表現力等の力を一層磨きます。なお、探究学習の時間は、普通科でも各学年において週に1時間ずつあります。
 - ・文理探究科は、1年次に東京・つくば方面への研修旅行をしたり、校外学習で県内の世界遺産や地元企業の先進的な環境設備等を訪問したりして、本物を自分自身の目で見て、肌で感じて、探究活動の土台を固めていきます。
 - ・学校行事や部活動は、普通科と同様に取り組むことができます。

佐世保南高校文理探究科に関するQ & A

Q 4 文理探究科での学びは大学入試に対応していますか。

A 4 ・対応しています。

- ・各大学では選抜方法等の改善を進めており、個別試験において、単に知識の量だけを計るのではなく、思考力・判断力・表現力等を必要とする選抜の実施が進められています。
- ・また、総合型選抜（旧AO入試）や学校推薦型選抜（旧推薦入試）において、高校時代に取り組んだ課題研究の内容や実績を評価したり、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度について評価したりしており、文理探究科での学びは、このような大学入試の変化に対応しています。
- ・また、文理探究科での学びにより自問自答型の学習スタイルを身に付けた生徒は、長時間の学習に意欲的に取り組むことができ、一層の学力向上が期待できます。他県の先進校でも探究的な学習により、進学実績等の成果が報告されています。

Q 5 文理探究科では、探究型の学習が重視されることで、大学入試が不利になるのではありませんか。

A 5 ・大学入試は「何を学んだか」だけではなく、志望理由書や面接試験など様々な方法で「どのように学んだか」「どのように学ぼうとしているか」についても評価をするものになってきています。

- ・文理探究科での学習は、この新しい大学入試に対応した「総合的で高い学力」を伸ばすものです。したがって、大学入試に不利になることはありません。進路希望を実現するために行ってきたこれまでの佐世保南高校の授業をしっかりと行った上で、さらに充実した探究型の学習を行います。

Q 6 探究的な学習に時間が割かれ、教科学習や受験に影響はないのですか。

A 6 ・各教科、受験に必要な学習はもちろん、特に専門教科「理数」「英語」では、よりレベルの高い学力を養成します。教科学習で培った知識を探究活動に活用することで、これからの大学入試に必要な力を伸ばすことができます。

佐世保南高校文理探究科に関するQ & A

【募集・選抜方法について】

Q 7 文理探究科と普通科の選抜方法について教えてください。

- A 7
- ・入学者選抜は、文理探究科（80名）、普通科（160名）を別々に募集します。
 - ・前期入学者選抜では、第1志望学科のみに出願できます。つまり、第1志望「文理探究科」、または第1志望「普通科」の出願しかできません。
 - ・後期入学者選抜では、第1志望「文理探究科」、第2志望「普通科」として出願することができます。ただし、普通科を第1志望とした場合は、文理探究科を第2志望にすることはできません。
- なお、普通科選抜において第1・第2志望の受験者は同等に扱います。

【後期入学者選抜における志望パターン】

パターン	第1志望	第2志望
①	文理探究科	普通科
②	文理探究科	なし
③	普通科	なし

Q 8 普通科の後期入学者選抜において、普通科を第1志望にしている場合と第2志望にしている場合では有利、不利がありますか。

- A 8
- ・普通科を第1志望にしている受験者と第2志望にしている受験者は、同等に選抜するので、有利、不利はありません。
 - ・合格者を判定する際に、第1志望と第2志望の受験者は、同じ基準のもとで選抜を行います。

Q 9 なぜ、入学するときから理数探究と国際探究に分けて募集しないのですか。

- A 9
- ・1年次からの文理融合の学びをとおして、幅広い知識と発想力を身につける基礎を養うことができます。
 - ・1年次の様々な学習や経験をとおして、自分の適性や将来の希望進路等をしっかりと見極め、2年次からの「理数探究」や「国際探究」での専門的な学習に的確かつスムーズに対応できるようにするためです。

佐世保南高校文理探究科に関するQ & A

- Q10 普通科に比べて文理探究科の定員が少ないため、合格できるか不安があり、どちらを志願すべきか迷っています。
- A10 ・文理探究科の定員は少ないですが、後期は普通科との併願が可能です。皆さんには、本校への入学を目指すにあたり、志望の際から高い目標をもって挑戦してほしいと思います。
- ・文理探究科では、探究活動に加えて、難関大学・学部を目指すためにより発展的な学習に取り組むこととなります。本校を受検しようと考えている中学生の皆さんは、それぞれ希望する進路をもとにして、文理探究科、普通科を志望してもらいたいと考えていますが、難関大学・学部を目指し、文理探究科での学びに意欲的に取り組もうと考えている中学生の皆さんは、後期入学者選抜においては第1志望を文理探究科、第2志望を普通科として出願してほしいと考えています。
- なお、文理探究科を第1志望にして、それが不合格になった場合、第2志望の普通科の選抜においても長崎県公立高等学校入学者選抜実施要領に沿って、公平・公正に選抜を行います。
- Q11 志望していない学科に、他の学科から回って合格することはありますか。
- A11 ・志望している学科でのみ合格が可能です。
- ・例えば、「第1志望・普通科、第2志望・なし」の志願方法では、普通科のみで合格が可能です。あるいは、「第1志望・文理探究科、第2志望・なし」の志願方法では、文理探究科のみで合格が可能です。仮に2つの学科のうち、どちらかが定員に満たなかったとしても、志望していない学科に合格することはありません。
- Q12 文理探究科に入学してから卒業するまでの流れはどのようになっていますか。
- A12 ・文理探究科では、高校入試の際に80名を募集し、1年生の時に文理探究科として、全員が同じ教科・科目を学習します。
- ・2年生に進級するときに、興味・関心、進路希望などに応じて理数探究と国際探究のうちどちらかを選び、選んだコースで学習することになります。コースの選択については、生徒の皆さんに安心して選択できるよう、教員がきめ細かくサポートします。

佐世保南高校文理探究科に関するQ & A

- Q13 2年生での理数探究、国際探究への進級はどのように決めますか。
- A13 ・1年次に説明会を行います。その後、希望調査を行い、進路について学級担任とよく相談して決めます。
- Q14 理数探究と国際探究とのコース選択は希望通りになりますか。
- A14 ・理数探究と国際探究との選択は、本人の希望が優先されます。
- Q15 2年次から理数探究と国際探究に分かれた際に、人数やクラス編制はどのようなになるのでしょうか。
- A15 ・文理探究科全体で2クラスを編制し、クラス内に理数探究と国際探究の生徒が混在するクラスとなります。
- Q16 入学後にそれぞれの学科を変更することはできますか。
- A16 ・文理探究科と普通科は入学の時点で別々に募集しており、1年次から異なるカリキュラムで学びます。また、2年次より文理探究科は、理数探究と国際探究に分かれ、普通科は文系と理系に分かれ、それぞれが異なるカリキュラムで学びます。
- ・このように、学科やコースのねらいに応じて3年間にわたって異なるカリキュラムが組み込まれているため、入学後の学科変更は困難です。

佐世保南高校文理探究科に関するQ & A

【卒業後の進路について】

Q17 文理探究科を卒業後、どのような進路が考えられますか。

- A17
- ・理数探究では、理科系学部（医学、歯学、薬学、理学、工学、農学、看護学、教育学（理））の四年制大学進学が考えられます。
 - ・国際探究では、文科系学部（法学、経済学、文学、外国語、国際学、教育学（文））の四年制大学進学が考えられます。

Q18 現在の大学入試は、以前に比べてどのように変化したのですか。

- A18
- ・大学入学選抜改革により、
 - ①「知識・技能」
 - ②「思考力・判断力・表現力」
 - ③主体性をもって多様な人々と協働して「学ぶ態度」について、多面的・総合的に評価する入試へと転換されています。
 - ・令和3年度入試から、「大学入試センター試験」が「大学入学共通テスト」に切り替わるとともに、学力の3要素がバランスよく評価される総合型選抜や学校推薦型選抜の定員割合が大きくなりました。
 - ・また、以前よりも詳細な記入内容となる調査書を大学側が積極的に活用するなど、高校での学習履歴が重視されるようになりました。

Q19 大学の特別入試（総合型選抜、学校推薦型選抜）は受験できますか。

- A19
- ・可能です。探究活動で、教科横断型の力や表現力を養い、特別入試を含めて、新しい大学入試に対応する学力を身に付けていきます。
 - ・現在も本校の多くの生徒が、本校の探究型学習での活動を活かし、総合型選抜や学校推薦型選抜にチャレンジしています。